

はじめに

わたしたちのすむ庄内町は、豊かな自然に恵まれ、大きな災害に見まわれることも少ない、たいへん暮らしやすい町だといえるでしょう。しかし、むかしからそうだったわけではありません。

庄内町を南北に流れる立谷沢川は、全国でも有数の水のきれいな川として知られています。しかし、立谷沢川のみなもとである月山は、もろい火山性の地層でできています。そのため、大雨のたびに上流の地層はしん食されて下流に土砂が運ばれ、その土砂が原因で田畑や家がうまったり、川の水があふれたりする災害が、むかしから何度も起きていました。また、立谷沢川が運んできた土砂は最上川に流れこむため、最上川でも川の水があふれて庄内平野の田畑や家が被害を受けたり、川にたまった土砂で、古くからさかんだった舟の交通がさまたげられたりすることも、たびたびありました。

現在は、上流や下流でさまざまな防災工事が行われたため、大きな災害はほとんど起きなくなりました。しかし、危険は今も完全になくなったわけではありません。最近では、今までなかったような大雨が降ることが増えています。また、大きな地震が起きることも考えられます。ですから自然災害への備えは、これからも忘れることはできません。

自然災害に備えるには、自分たちが住む地域で、どのような災害がどうやって起きるのかを知り、どうすれば災害から身を守るができるかを、ふだんから考えておくことが大切です。この「庄内町 わたしたちの防災ブック」は、そのための参考資料としてつくられた、防災学習副読本です。

も く じ

庄内町のすがた	3
第1章 立谷沢川と庄内町の自然	
1-1 立谷沢川は上流では深い谷をつくって流れる	4
1-2 谷を出た立谷沢川は土砂が谷をうめつくし、広い谷底平野をつくっている	6
1-3 最上川と合流し、土砂はさらに庄内平野へと運ばれる	8
第2章 庄内町と自然災害	
2-1 庄内町で起きた自然災害	10
2-2 土砂災害が起きるしくみ	12
2-3 地震と火山噴火のしくみ	14
第3章 自然災害からいのちを守る	
3-1 自然災害を防ぐための施設	16
3-2 危険な場所を知る	18
3-3 災害の注意報や警報、避難情報などの意味を知る	20
3-4 ふだんからの準備、いざというときの避難	22